

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民及び来館者	高野辰之の人と業績を知っていただくことにより、芸術文化の振興を図る。
現状・課題	国文学者、文部省唱歌作詞者としての業績を次世代に顕彰することにより、芸術文化の振興を図る。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市高野辰之記念館条例
事務事業概要	高野辰之に関する資料の展示及び高野辰之作詞の文部省唱歌を歌い、語り継ぐイベントを開催する。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	「故郷」のふるさと音楽会	1回
	サマーコンサート	1回
	冬季イベント	1回
	デジタルイベント	1回
	常設展示	通年

事業イン プット コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	9,652,000	10,229,000	9,415,000
		補正・流用等	円	-57,000		—
		合計	円	9,595,000	10,229,000	9,415,000
	決算（見込）額 A		円	9,007,075	10,229,000	—
	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	1,691,790	2,180,000	2,227,000
	R2は予算額	一般財源	円	7,315,285	8,049,000	7,188,000
	正規職員数		人	0.04	0.02	0.02
	人件費 B		円	257,680	129,400	176,520
総事業費 A + B		円	9,264,755	10,358,400	9,591,520	
市民 1 人当たりコスト		円	218	244	228	

成果指標	アウトカム	方向		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
来館者数		維持	目標	11,000	人	11,000	人	11,000	人
			成果	7,196	人	—	人	—	
イベント参加者数		維持	目標	600	人	600	人	600	人
			成果	368	人	中止	人	—	
成果指標と目標値を設定した理由	より多くの方々に来館いただくことで、高野辰之の業績を知ってもらう。								

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	新規にデジタルイベントを企画し、併せて多様な情報発信や魅力あるイベントを行う事で、来館者数の増加を図る。						

事務事業名	高野辰之記念館運営事業	部・局	くらしと文化部
		課・室	高野辰之記念館
		係	

[illegible]